

人文・フェミニズム・  
ジェンダーご担当者様

「無自覚な層ほど否定し抵抗したくなる」本  
メディアも注目の1冊



大福書林・担当 瀧 (たき)  
TEL 03-3925-7053  
info@daifukushorin.com

# 「僕ら」の「女の子写真」から わたしたちのガリーフォトへ

長島有里枝・著

重版

筆が対象を射抜く。90年代文化論としても、性差を論じる手本としても抜きん出る。異議から学術書へと昇華させた力技を全ての人に薦めたい。

(鈴木洋仁氏) 3/1 読売新聞・書評

3/1 共同通信配信「読書」欄、3/8 東京新聞・「書く人」欄  
3/8 毎日新聞・著者インタビュー、3/28 朝日新聞・書評予定  
「美術手帖」、「現代ビジネス」、「婦人公論」5月号予定  
「SPUR」5月号 Sexyzone マリウス葉・社会問題に関する新連載の初回ゲスト他多数

「女性の身体がほとんどいつも性的な文脈に置かれることの”当たり前さ”に疑問を持ってほしいと思ったのです。(略)いくら待ってもきちんとした批評ができる専門家が現れないなら、自分で作品を守ればいい」。

3/5 ハフポスト

インタビューで長島さんが「能力を隠して男性の一段下にいることを期待されて育ってきた」と漏らす。

だからこそ、今や未来の若い女性が前に進めるようにとの思いでこの本を記した。さまざまな連帯によって小さな声を拾い上げていく。(武田砂鉄氏) 3/14 東京新聞

ブームが去り、風向きが変わると、他人事のように憂いてみせる厚顔無恥ぶり。歴史は当事者によって書き直される。2/17 東京新聞「大波小波」

“女の子写真”は直感的で瞬間的で……とくくり持ち上げることで巧妙に男性の既得権益が守られていた構造を明らかにする。一気読み！カッコいいし胸がすく。エンパワ本、大推薦！（読者）

長島有里枝：1973年生まれ。2001年に、ヒロミックス、蛭川実花とともに第26回木村伊兵衛写真賞受賞。

2010年、短編集『背中の記憶』で講談社エッセイ賞受賞。

木村伊兵衛写真賞・ニコンサロンなどで選考委員を務めた。『群像』『GINZA』で「フェミ姉」としてエッセイを連載中。読売新聞読書委員、朝日新聞読書委員を歴任。早稲田大学・東京大学などで写真を教えながら、ジャンルの枠を越えた表現活動をおこなっている。

**FAX 03-4283-7570** 鎌谷書店経由ですべての取次に委託納品します。返品可

注 文	書店印 (番線)	ご担当者様	部数	「僕ら」の「女の子写真」から わたしたちのガリーフォトへ  長島有里枝・著  ISBN 978-4-908465-11-6 C0072 四六判上製・412頁 3,300円+税 大福書林・刊
		さま	冊	



四六判上製 412 ページ  
3,300 円+税

当事者研究の  
白眉。目次  
だけでわくわく  
します。  
上野千鶴子